

第2号議案－1

## 2021年度決算報告

(2021年4月1日～2022年3月31日)

(収入の部)

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	摘 要
会 費	0	0	個人会費
寄 付 金	120,000	120,000	
雑 収 入	0	0	預金金利は 0
繰 越 金	19,530	19,530	
合 計	139,530	139,530	

(支出の部)

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	摘 要
会 議 費	100,000	30,610	
(1) 総 会	50,000	24,900	会場費・看板代
(2) 会員会議	20,000	0	会場費等
(3) 理事会	30,000	5,710	会場費・飲物代
活 動 費	20,000	0	
事 務 費	10,000	0	
予 備 費	9,530	0	
合 計	139,530	30,610	

収 入 139,530

支 出 30,610

108,920

次年度へ

第2号議案－2

## 2022年度決算報告

(2022年4月1日～2023年3月31日)

(収入の部)

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	摘 要
会 費		0	個人会費
寄 付 金		0	
雑 収 入		0	預金金利は 0
繰 越 金		108,920	
合 計		108,920	

(支出の部)

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	摘 要
会 議 費		11,592	
(1) 総 会		0	
(2) 会員会議		0	
(3) 理事会		11,592	会場費
活 動 費		8,845	セミナー参加費、資料代
事 務 費		840	切手代
予 備 費		0	
合 計		21,277	

収 入	108,920	
支 出	21,277	
	<u>87,643</u>	次年度へ

# 2021 年度会計監査報告

2022 年 6 月 13 日

とやま市民エネルギー協議会

共同代表 竹川 慎 吾 様

共同代表 岡崎 信也 様

共同代表 齊藤 光一 様

共同代表 宮崎 周二 様

監 事 山 田 博 (印)

2021 年度の会計収支について監査を実施しましたので、その結果を下記のとおり報告します。

## 記

- 1 監査実施日 2022 年 6 月 13 日(月)
- 2 監査実施場所 山田法律事務所
- 3 監査対象期間 2021 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日まで・
- 4 監査の結果 ① 収入及び支出について不当・不正な点は認められず、  
執行状況は適正・良好である。  
② 帳簿及び証拠書類は適正に処理されており良好である。

以 上

# 2022 年度会計監査報告

2023 年 5 月 17 日

とやま市民エネルギー協議会

共同代表 竹川 慎 吾 様

共同代表 岡崎 信也 様

共同代表 齊藤 光一 様

共同代表 宮崎 周二 様

監 事 山 田 博 (印)

2022 年度の会計収支について監査を実施しましたので、その結果を下記のとおり報告します。

## 記

- 1 監査実施日 2023 年 5 月 17 日(水)
- 2 監査実施場所 山田法律事務所
- 3 監査対象期間 2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日まで
- 4 監査の結果 ① 収入及び支出について不当・不正な点は認められず、  
執行状況は適正・良好である。  
② 帳簿及び証拠書類は適正に処理されており良好である。

以 上

## 第3号議案

# 2023年度活動計画（案）

### はじめに

2017年4月に自らが再生可能エネルギーを生み、そして広めることを目指し、とやま市民エネルギー協議会を設立して7年目を迎えました。

東日本大震災、福島原発事故は、私たちの想像をはるかに超える大災害をもたらしました。地震発生の確立が非常に小さいとされてきた熊本県を震度7の揺れが2度も襲い、また、2018年9月発生した北海道胆振東部地震も震度7の揺れが襲いました。そして、全道が停電するブラックアウトを引き起こし、電源が1カ所に集中する危険性が露わとなり、地方分散型のエネルギーの必要性が再認識されました。

私たちは、近代化・効率化を追い求め、経済の主体は財界でした。民主主義も形骸化し、私たちは、受け身の姿勢でした。今、私たち自らが能動的に考え、活動することが求められ、私たちが、新しい社会を創り上げていくときにきていると言えます。

私たちは、医療、教育、農業、交通、地域コミュニティなど様々な地域の課題に、地域の実態から取り組むことが大切であると考えます。

私たちは、その一環として、エネルギーのあり方、生産、消費について考え、小さくても市民自らがエネルギー生産に取り組み始めました。それは、人、物、金が地域で循環する仕組みでもあります。

それは、地域での民主主義を具体化し、拡充し、深化し、地域循環型の経済、地域の自立を目指す小さな一翼を創り、担っていくことにつながると確信します。

### 具体的活動

#### 1. 学習・交流・情報交換の活動

##### (1) 会員相互の交流・情報交換

会員相互の交流や情報交換を大切にします。ホームページやメール等の活用を進めるとともに、会員会議（定例会）において、会員相互の情報交換・交流を深める取り組みを行います。これまで取り組んできた太陽光発電、小水力発電とともに、再生可能エネルギー全般、環境、脱炭素についても調査・研究を進めることとします。

##### (2) 全国の市民組織との交流・情報交換

全国で市民による再生可能エネルギー普及の取り組みが行われ、「市民電力連絡会」、「環境エネルギー政策研究所」、「市民・地域共同発電所全国フ

オーラム」は、そうした取り組みのキーステーションとなっています。私  
たちも積極的に参加し、全国の仲間と連携して活動を進めます。

引き続き、石川県や新潟県などの再生可能エネルギーに取り組んでいる  
市民団体との交流・情報交換を行い、私たちの運動の幅を広げていくこと  
とします。

### (3) 学習

会員会議や総会に併せた講演会や自治研センターや事業会社との協力の  
ものに研究会を開催していくこととします。

## 2. 調査・研究活動

### (1) テーマ

協議会では、この間、太陽光発電や小水力発電を中心とした調査・研究を  
進めるとともに、2022年度からは、再生可能エネルギー全般、環境、脱炭  
素などにもテーマを広げて活動を進めてきました。

引き続き、再エネ導入の世界と日本の現状、デンマークなどの再エネ先  
進国の事例研究、日本の洋上風力発電の現状、再エネのコスト、日本にお  
ける再エネのポテンシャル、地熱発電の現状と可能性、小水力発電推進に  
向けた研究、再エネ推進に向けた市民の役割などについて調査・研究を進  
めることとします。

### (2) 研究会の開催

年2～3回をめぐりに開催することとし、具体的な内容は理事会で協議する  
こととします。

## 3. 普及活動

広く市民に対する普及活動を行うことも課題です。研究会などは、誰でも  
自由に参加できる体制とし、ホームページやマスコミを通じた情報発信に  
努めていますが、さらに強化することとします。

また、ホームページの適時な更新、充実をし読みたくなるホームページ、  
情報発信力のあるホームページの作成につとめます。さらに、本年度は、『会  
員ニュース』のメール配信に取り組むこととします。

## 4. 事業会社の取り組み

事業会社である「とやま市民エネルギー株式会社」は協議会の活動の一環  
として設立されました。協議会は事業会社の基本方向を決定し、事業会社は  
再生可能エネルギーの普及事業を進めます。

#### (1) 第7回株主総会の開催

本年6月24日に第7回株主総会を開催し、2022年度決算の承認並びに2023年度の事業計画を決定します。

#### (2) 太陽光発電

小矢部清水太陽光市民発電所、小矢部白谷太陽光市民発電所及び一昨年3月に完成した小矢部八伏太陽光市民発電所は順調に稼働しています。引き続き、安定的な発電に向け、必要な保守・管理を行います。

#### (3) 新たな事業について

当協議会の議論や自治研センターの再生可能エネルギープロジェクトにおける調査・研究を踏まえ、引き続き検討を進めていくこととします。

### 5. 会員拡大

さらに活動を広めるため、会員の拡大に努めます。

### 6. 機関運営

#### (1) 定時総会

総会において、交流や情報交換を行い、活動計画を決定するとともに講演会を開催していくこととします。

#### (2) 会員会議（定例会）

活動の意思統一や情報交換、学習の大切な場であり、多くの参加で充実した会員会議にしていきます。

また、事業会社の現況についても報告・議論し、共通認識を深めていくものとします。

#### (3) 理事会

日常の業務を執行していく機関として強化します。事業会社の運営についても、状況を把握するとともに、運営方向について協議していくこととします。

理事の増員をおこなうとともに、理事の分担を明確化し、理事会の機能を充実します。

### 7. 財政

引き続き財政の確立に努めることとします。

## 第4号議案

# 2023年度予算(案)

(2023年4月1日～2024年3月31日)

(収入の部)

(単位:円)

科 目	本年度予算額	21年度予算額	摘 要
会 費	0	0	個人会費
寄 付 金	50,000	120,000	事業会社、個人、団体
雑 収 入	0	0	
繰 越 金	87,643	19,530	
合 計	137,643	139,530	

(支出の部)

(単位:円)

科 目	本年度予算額	21年度予算額	摘 要
会 議 費	100,000	100,000	
(1) 総 会	60,000	50,000	会場費・資料代等
(2) 会員会議	20,000	20,000	会場費等
(3) 理事会	20,000	30,000	会場費等
活 動 費	20,000	20,000	
事 務 費	10,000	10,000	事務・通信費等
予 備 費	7,643	9,530	
合 計	137,643	139,530	

## 第 5 号議案

### 2023 年度役員体制(案)

共同代表	竹 川 慎 吾
共同代表	岡 崎 信 也
共同代表	齊 藤 光 一
共同代表	宮 崎 周 二
事務局長	坂 井 登 喜 雄
事務局次長	小 澤 慎 一
理 事	藤 井 完 一
理 事	川 西 和 夫
理 事	馬 瀬 口 安 幸
理 事	高 橋 美 知 広
理 事	飯 田 義 博
監 事	山 田 博